

# 治水は

洪水を調節します。(南畑ダム)



大雨が降ると河川を流れる水が増水し、あふれたりする恐れがあります。そのため、下流の家や田畑に被害をもたらさないようダムで河川を流れる水量を調節します。南畑ダムでは、洪水時に那珂川を流れる水量を調節することで、那珂川流域に住むみなさんの生命や財産を守っています。

※ダムに蓄えることのできる水量には限界があり、それ以上の洪水をダムで蓄えることはできません。もちろん、このような豪雨は100年に1度あるかないかですが、ダムにも限界があることをご理解ください。

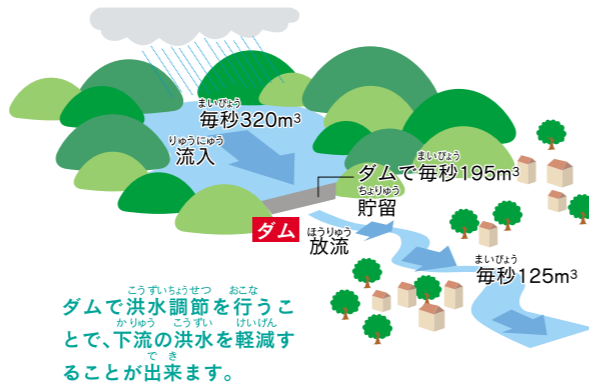
## ダムがなかった場合

大雨が降ると、那珂川を流れる水量が増え、川の水があふれたりする恐れがあります。



## ダムがある場合

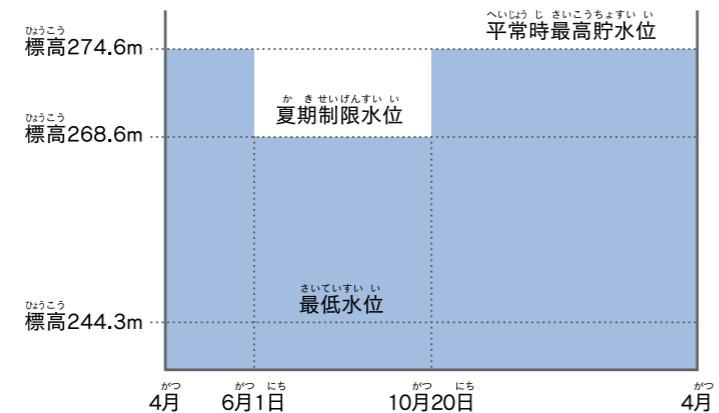
ダムで、ダム上流の川の水を一時的に貯め、ダム下流の那珂川の水量を調節します。(洪水調節)



洪水を調節するために、洪水期は水位を下げるんだね。



平常時最高貯水位変動図



# 利水は

生活用水を確保します。(南畑ダム・脊振ダム)

長期間雨が降らないと河川を流れる水が不足し、生活用水の確保が難しくなります。そのため、渇水時にも安定して生活用水を供給できるように、ダムではあらかじめ一定量の生活用水を蓄えています。南畑ダム・脊振ダムでは福岡都市圏への水の安定供給を目指し、生活用水の確保を行っています。

※ダムに蓄えることのできる水量には限界があります。日頃から節水を意識した生活を心がけましょう。



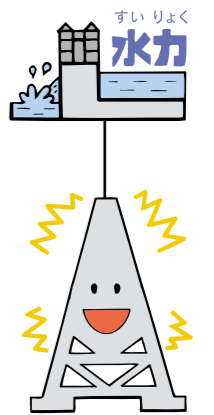
農業用水を確保します。(南畑ダム)

生活用水と同様、南畑ダムでは渇水時にも農業用水を安定供給できるように農業用水の確保も行っています。



電気を作ります。(南畑ダム)

ダムの水を下流に流すとき、水は勢よく高いところから低いところへ流れていきます。この落差を利用して発電機の羽根車(タービン)を回し、発電を行っています。南畑ダムでは福岡県企業局ちくし発電所ならびに九州電力南畑発電所へ発電用水を供給することで、環境にやさしい水力発電の役に立っています。



福岡県企業局  
ちくし発電所：最大 550kW

九州電力  
南畑発電所：最大1,600kW

